

小田原市文化振興審議会 第10回会議 次第

日時：令和6年7月22日（月）10時00分～

場所：おだわら市民交流センターUMECO 会議室3

1 開 会

2 議 題

（1）新たな文化振興策について

3 その他

4 閉 会

前回（第9回会議）での検討内容について

基本目標・施策			R3評価		R4評価		今後		
2ー3	文化・芸術に触れる身近な機会の充実		0回/年	<取組中> アウトリーチ以外に、地域での事業がやや不足していた	➡	13回/年	<やや順調> アウトリーチ事業は実施回数を増やし、ストリートピアノも延期などがあったが、実施することができた。	➡	<要検討> R5、ストリートピアノは実施しない。 より身近な場所において、文化・芸術に触れられる機会の充実が求められる。
	[2030年目指す姿] 日常生活により身近な場所において、文化・芸術に触れる機会が創出され、市民の文化活動の充実が図られている。	目標値 15回/年							

皆様からいただいたご意見

- ・ アートワークなどをまちなかで行うと、出会いの場ができ、アート体験もできていいのではないかな。
- ・ まちなかに、アート作品を常設してみてもいい。
- ・ 前橋市などでは、モダン現代アートで人を呼ぶアクションを取っている。アートで人が呼べるいい事例である。
- ・ アーティストは、自分で会場を準備する等大変だが、身近なところでやりたいという思いはある。
ちょっとした舞台など、発信する場として使用できる場所・システムがあるといい。
- ・ いろいろな場で、いろいろな経験ができる。これが、まちなかでできるといいと思う。
- ・ 庭に美術品を展示するのもいいのでは。物自体の価値もあるが、ものにまつわるストーリーにも価値がある。
- ・ 屋外コンサートなどもできる、いつでも使用できる場所があるといい。そういった場所を作ることも大事である。

(案)

ODAWARA CULTURE WEEK

芸術・文化と出会う時間

1 目的

「小田原ならではの文化によるまちづくり基本計画」に掲げた 9 つの小田原ならではの多彩な文化を振興するとともに、文化の担い手となる市民による文化活動をさらに発展させ、文化によるまちづくりを推進していく具体的な支援策の一つとして実施する。

市の文化・伝統に対する市民の認知・理解を促進し、一人一人が文化の担い手であるという認識を深めるとともに、小田原三の丸ホールとも連携し、文化・芸術に触れる機会の充実を図る。また市全体に、文化を創造する風土を高めることで、子どもたちへの文化の継承を図り、持続可能なまちづくりにつなげます。

施策 1-2・2-3・3-2・4-1・4-4 ♪

2 概要

- 2 年か 3 年に 1 度、市内各地にある文化資源や歴史的建造物、伝統、小田原ならではの文化等に、一定期間(2~3 週間程度)クローズアップして光をあてるとともに、関係する文化活動やワークショップ等を市内各地で実施し、市民や小田原を訪れた人に HP やチラシ、展示等で更なる周知・PR を図る。
- 文化活動の拠点である三の丸ホールと、主に広報の分野で連携し、ギャラリー回廊等を借りて三の丸ホールを広報・周知の拠点とする。
三の丸ホールで事業の趣旨、期間中のイベント案内等の広報を行い、各地域での行われる文化イベント等へ誘導を図る。
- 各地域を繋ぐことも目的の一つとし、ホールから各地域への誘導だけでなく、イベント等を実施する各地域から三の丸ホールへの誘導も図る。
- 文化活動を行う人・団体の、より身近な場所・舞台で活動したいという希望にこたえるため、別に「**文化 SPACE**」を整え、活用を図る。

文化 SPACE

公共施設や市の文化資源、歴史的建造物等で、文化活動の実施や発表などができる場所をリストアップし、実施したい文化活動の要望があった際に相談に応じられる体制を整える。
将来的に、観光施設や商業施設、地域施設、学校施設等の民間施設との連携も目指す。

候補施設(案)

- 旧松本剛吉別邸
- 皆春荘
- 旧内野醤油店
- 城址公園(要相談)
- フラワーガーデン(要相談)
- 観光交流センター(要相談)
- 甘柑荘(要相談)

※文化活動に係る施設使用料について検討が必要か(無料か、一定金額を設定するのか。文化基金等への寄附など。民間施設は無料での貸し出しが難しい可能性が高い)

3 実施方法

実行委員会形式

- ・小田原市
- ・観光協会
- ・事業協会
- ・小田原箱根商工会議所
- ・おだわらカルチャーアワード受賞者

①文化 SPACE で利用できる施設の検討・確保

②実行委員会で、実施期間を設定

③対象期間内に、行われる予定又は実施希望の文化活動等を募集

- ・こんな WS をやりたい
（（例）アート制作したい）
- ・こんな活動内容を考えている
（（例）美術品の展示をしたい）
- ・この期間にやる予定のイベントがある
- ・このスペースが利用可能 etc

④実行委員会で、募集した内容を基に実施内容の精査・検討

- ・「スペース×文化活動」をマッチング
- ・メインとなるイベントやテーマを決定
- ・実行委員でやりたい内容があれば依頼
- ・商業系とのコラボも検討
- ・企業訪問し、協力を依頼

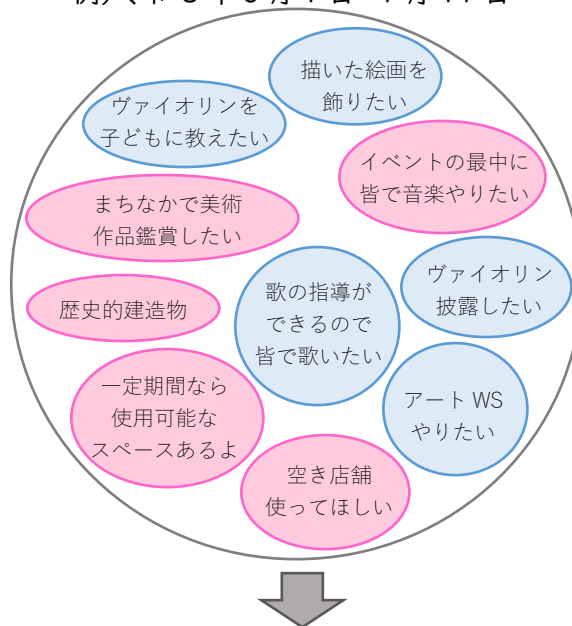
⑤広報関係、実施の準備

⑥開催

②実行委員会
実施期間を設定
例) 令和 8 年 11 月 3 日～22 日

③活動場所や活動希望等を募集

例) 令和 8 年 6 月 1 日～7 月 17 日



④実行委員会でマッチング

例) 令和 8 年 8 月～9 月

空き店舗 使ってほしい	＝	ヴァイオリンを 子どもに教えたい
まちなかで美術 作品鑑賞したい	＝	描いた絵画を 飾りたい
歴史的建造物	＝	ヴァイオリン 披露したい
一定期間なら使用可能 なスペースあるよ	＝	アート WS やりたい
イベントの最中に 皆で音楽やりたい	＝	歌の指導ができる ので皆で歌いたい

4 予算額

150 万円（謝礼・広告宣伝費・需用費）